



## 新着図書の御案内

春は名のみの北風が吹き抜ける径に、緑いものをちらと見つけると、心がなごみます。本との出会いも、そんな時に始まります。

### ◇一般図書◇

街のオキテ　　泉 麻人  
ジャパンタイムズ社説集  
日本人の再発見　色川大吉  
母と娘が見たアメリカの中の大國ニッポン　宮本美智子  
アイアコッカの直言　　リーアイアコッカ

活力の構造　　柳田邦男  
すてきな手づくりラッピング

主婦と生活社  
目標は撃墜された  
S・M・ハーシュ  
パンの本　　C B S ソニー  
宿場と街道　児玉幸多

井上ひさし  
岩波講座　能・狂言  
ほか一六一冊

ファミコンVテク大作戦  
ワープロに強くなる漢字バズ  
ル

長島茂雄殺人事件　つかこうへい  
三日月姫　松本 隆  
夕陽災々　村松友視  
山田長政の秘宝　和久峻三  
食わせろ!!　景山民夫

ピラミッドのたから  
世界の国ぐにびつくり旅行  
さんすうゲーム  
よくわかるラジコンカー  
鉄道写真教室  
ぶきつちよさんの布でつくる  
贈りもの  
記号・単位のひみつ

白いおかあさん  
遠い日の歌がきこえる  
ゆきのプレゼント  
セーターになりたかった毛糸  
だま  
14ひきのびくにつく  
ほか七十五冊

つかこうへい  
つかこうへい  
立松和平　ブラウン神父ブック

井上ひさし  
井上ひさし  
井上ひさし  
井上ひさし

井上ひさし  
井上ひさし  
井上ひさし  
井上ひさし

離婚をめぐるラブ・ストーリー　　S・グリーンリー  
一　　立松和平　ブラウン神父ブック

井上ひさし  
井上ひさし  
井上ひさし  
井上ひさし

井上ひさし  
井上ひさし  
井上ひさし  
井上ひさし

## 家庭教育（三） 知ることの喜び

「うさぎの目はなぜ赤いの」「ぞうの鼻はなぜ長いの」「金魚は夜眠るの」というような質問を毎日のようにする時があります。そういう知的好奇心を満足させることによって学校に入つてからずばらしく成長する子が多いのです。

今的小学校で一クラス全員の子どもが先生の言うことを目を輝かせて聞く授業をすることは大変に難しくなりまし

た。このことを五割授業、三割授業などといふ人もおります。五割つまり半分の子どもだけが先生の話を聞いて授業に参加するが、他の半分の子ども達は、ぼけつとして教室の外を見ていたり、手いたずらしていたり、となりの子をつついたりして授業に参加しないということです。

授業に参加している子と、しない子とでは、学習内容の理解と蓄積は一年で相当な差

がでます。では授業に参加できる子に育てるにはどうしたらいでしようか。それは前号に書いたようにして、知ることの喜びを身に付けてあげることです。

知ることの喜びを身に付ける子は、自分から進んで授業に参加するようになります。授業に自分から進んで参加に参加するが、他の半分の子

行なわれます。その時先生に「家子は算数はどうでしよう」に話すことはあまり良いことではありません。なぜなら、その「国語は」と点数中心に話し合つことはあまり良いことではありません。なぜなら、そういう成績は小学校では、「あゆみ」中学校では「通信表」に書いてあります。それより自分の子どもが授業に参加していないかといいますと、先生の授業の上手・下手とも深い関係がありますが、もつと影響のあるのは子どもが知的成長をとげているかどうかです。知

学校で学期末に個人懇談が行われます。その時先生に「家子は算数はどうでしよう」又知的好奇心のある子は、本をよく読みます。私が教員をしていていた頃のクラスで、一年に百冊も本を読んだ子もいましたが、反対に教科書のほんをしても伸びる子にはなりません。

将来伸びる子というのは、時間をかけた家庭教育、時間かけた授業から生まれるのです。塾や家庭教育でつめ込みをして伸びる子にはなりません。

子どもたちがいる教室は精気があります。授業に自分で進んで参加する子としない子とのちがいはどこから来ますかといいますと、先生の授業の上手・下手とも深い関係がありますが、もつと影響のあるのは子どもが知的成長をとげているかどうかです。相談